

# 認定事前調査の強化とその進捗状況



高圧ガス保安協会  
The High Pressure Gas Safety Institute of Japan

## 内 容

1. 認定事前調査の見直しの概要  
(平成25年2月28日にご説明済み)
2. 見直しの具体化とその実施結果
3. 評価基準の厳格化

# 1. 認定事前調査の見直しの概要

## ～調査体制～

- ① 認定事前調査メンバーの見直し

## ～認定要件における重点調査項目の設定～

- ② 非定常時におけるリスクアセスメント
- ③ 中長期における設備保全計画
- ④ 中長期における人材育成計画
- ⑤ 保安管理体制の強化

## 2. 見直しの具体化とその実施結果

### ① 事前調査メンバーの見直し

#### ○調査体制の充実・強化

- 従来の現地調査メンバー: 学識経験者及びKHK職員が中心
- 企業において保安活動や設備管理を経験した専門家を新たに加えバランスの良い構成に見直し

#### ○事前調査への参加

- 企業OBを委員会※に加え、毎回の事前調査に必ず1名は企業OBの委員が参加
- 保安管理体制、設備保全、人材育成、リスクアセスメント等を自らの実務経験に基づき、より現場の目線で指摘

指摘内容の例)

- ・ 協力会社の管理について
- ・ トップのコミットメントについて
- ・ 大規模地震対策(製品出荷エリアの液状化、構造物の基礎等耐震化)

※当該委員の中立性はKHK規程により確保

## ② 非定常時のリスクアセスメント(RA)

### ○重点調査項目

- 非定常時RAの対象及び実施方法の検討
- 実施計画の策定、実施状況

### ○調査結果

- 非定常時のRA手法を模索、トライアル実施
- HAZOPを応用し、優先度の高いプロセスから順に対応

## ③ 中長期における設備保全計画

### ○重点調査項目

- 最近数年～数年後の補修計画(経年劣化・保安対策)の進捗を確認

### ○調査結果

- 設備の外面腐食対策に重点的に対応中
- 既設設備の耐震基準への適合について確認し、今後の対応計画を作成

## ④ 中長期における人材育成計画

### ○重点調査項目

- 技術継承を考慮した教育訓練の計画と実態
- 年齢構成・技術継承を考慮した全体人員の推移と計画

### ○調査結果

- 若手運転員が自らマニュアルの見直しを行い、教育の場としても活用
- OBを指導員として再雇用する事例が多い

## ⑤ 保安管理体制の強化

### ○重点調査項目

- 保安管理義務違反等がなく、より実効性を高める体制となっていることの確認

### ○調査結果

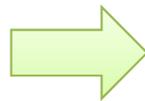
- 保安管理義務違反の教訓として、保全業務と保安検査業務の実施者を分離し、第三者性を確保するなどしている

### 3. 評価基準の厳格化

- ・申請企業の強化すべき事項を指摘し、特に重点調査項目については充実を促すこととした。
- ・加えて、総合評価における重点調査項目の重み付けと、評価基準の厳格化を図った。

#### 従来評価基準

1. 保安管理システムが告示要求事項全項目へ適合しているか評価



#### 新評価基準

1. 従来評価基準 に加えて
2. 上記②～⑤の重点調査項目への対応を評価
3. 特に既設設備の耐震基準への適合状況と対応計画を評価

#### 平成25年度(現在まで)事前調査評価結果

総合評価	A	B	C	D
事業所数	0	4	3	0

#### 参考(24年度)

A	B	C	D
2	17	3	0

## まとめ

1. 産構審の議論を踏まえた重点調査項目について調査を開始し、充実を促すこととした。
2. 総合評価における重点調査項目の重み付けと、評価基準の厳格化を図った。
3. 新方法を今後も継続し、必要に応じて見直しを図る。